

不登校はどの子どもにも起こりうること… 安心できる居場所・多様な 学びの場があります

新型コロナウイルス感染症などの社会的な要因や学校での人間関係など人それぞれの要因で、近年、「学校に行かない」子どもが増えています。そこで、行政だけでなく地域の方々が、「安心できる居場所」「多様な学びの場」をつくっています。

「できた」「褒められた」「ホッとした」などの経験ができる、自分に合ったリズムと居場所を見つけていきましょう。

☎教育指導課 ☎(338)6925・☎(337)7620

市は、市立小・中学校に通っている子どもが不登校になった場合に、担任の先生など学校と相談のうえ、一人ひとりに合った居場所を選択できる環境づくりに取り組んでいます。代表的なものを紹介します。

①校内別室

どこ？

多摩市立小・中学校

何ができる？

クラスに入りづらい子どもが、校内の別室で学習などに取り組むことができます。令和6年度は、試行的に城南進学研究社のオンライン学習ソフト「デキタス」を利用し学習することもできます。



不登校対応巡回教員(中学校)からのコメント

「こんな居場所だったら」や「こんな取り組みができれば」といった子どもの声を大切にしています。無理のないペースで少しずつ自信をつけていきましょう。

②適応教室「ゆうかり教室」

どこ？

教育センター

何ができる？

個別学習・他の子どもとの交流・集団活動やボードゲーム・ものづくりなどのプログラム(コアラタイム)などを通じ、退職した教員など大人との関わりの中で「分かった」「できた」といった経験を積むことができます。



ゆうかり教室の先生のコメント

平日の月～金曜日に先生たちが待ってるよ。けん玉名人とけん玉をしたり、卓球で身体を動かしたりすることもできるよ。

③多摩市フレキシスクールOnline(VLP)

どこ？

インターネットの仮想空間内
(令和5年10月開設)

何ができる？

学校から配付されたタブレット端末で利用できます。曜日により、星槎国際高等学校の教員によるオンライン版コアラタイムや明星大学心理学部の大学院生との交流などさまざまなプログラムに参加することができます。



VLP支援員からのコメント

みんなでゲームをしたり、好きなことをお話ししたり、楽しめる企画を色々準備しているよ。VLPの中で、みんなの話を聞かせてね。

④チャレンジクラス「あたごSpace」

どこ？

東愛宕中学校(令和6年4月開設)

何ができる？

ゆとりある時間割の中で、生活リズムを整えながら教員やチャレンジサポーター(支援員)の指導のもと、学校生活を送ることができます。



先生からのコメント

集団の授業だけでなく、個別の学習も取り入れながら一人ひとりの状況に合わせて進めています。



▲詳細はこちら

学校以外にも相談
できる場所があります

教育センターで相談を受けています。相談員が、子ども・保護者の気持ちや日常のことを聞きし、学校や関係機関と連携しながら、その子に合った学びの場などを保護者と一緒に考えます。家族だけで悩まずに、ぜひご相談ください。 ☎発達・教育初回相談窓口 ☎(372)1038



▲申し込みはこちら

学校以外の「安心できる居場所」
「多様な学びの場」を紹介します

「安心できる居場所」「多様な学びの場」は、学校以外にもたくさんあります。地域で活動しているサポートの一部を紹介します。

NPO法人BORDER FREE

●放課後学習教室

どこで？

- ・ココリア多摩センターキャリア・マムホール(落合1-46-1)=多摩センター教室
- ・多摩ボランティア・市民活動支援センター(関戸4-72)=聖蹟桜ヶ丘教室

何ができる？

大学生や地域のボランティアの先生に質問できる勉強スペースです。勉強スペースだけでなく、温かく、和気あいあいとした居場所づくりにも力を入れています。

●さくら教室(集団授業)

どこで？

多摩ボランティア・市民活動支援センター

何ができる？

レベル・学年に合わせたアットホームな集団授業を行っています。基礎・標準英語クラスや都立入試クラスがあります。

【共通事項】

¥有料備考授業の日時・費用・対象などは、教育支援によって異なる。詳細は、NPO法人BORDER FREE ☎https://border-free.jp/ 参照 ☎☎border.free.2021@gmail.com

●STRADA(オンライン授業)

どこで？

オンライン

何ができる？

ZOOMを使ったオンライン授業です。学校の授業に合わせた授業やテスト対策、前学年の復習など一人ひとりに合った授業を行います。



▲詳細はこちら